

2016年度

こどもニュース

うんどう会
親子競技 メンバー表

No. 9

2016.10.5 発行

金城学院幼稚園



10月になりました。『天高く馬肥ゆる秋』とはほど遠い今。秋晴れ、すがすがしい風を求めています。なかなかそうはいかず台風の影響による湿った空気と、曇り空が続いていますね。それでも夏の風とは違うことを子どもたちは全身で感じながら遊んでいます。先日、山の上から一気に駆け下りてきた子どもが「風が涼しい！」と爽やかに言っていました。まだまだ蒸し暑いなあ~と思っていた私を、爽やかにしてくれた一言でした。こうして子どもの近くにいると、そんな子ども達から、力をもらい、感性を磨かれることに、幸せを感じます。

つかの間のお天気の時を捉えて園庭で思いきり遊ぶ子どもたち。リレー、かけっこ、ドロケイ、ドッジボールなど所狭しと繰り広げられ、気持ちは運動会に向かっていきます。体操も大好きで、毎日踊っています。こんな可愛い歌が聞こえてきませんか？

♪カエルンバ アヒルンバ〜♪

加藤千夏

親子競技が決定しました！

子どもたちが繰り返し楽しんできた遊びの中から、運動会で行う親子競技を4種類考えました。毎年同じように見える遊びでも、そこに関わる子どもによって楽しみ方が違います。ひとりひとりが何を楽しみ、どんなことに喜びや達成感を味わっているのかを観て、子どもと共に考えていきます。名前も考えてくれました。

どんな競技があるのかな？・・・4種類あります。

どの競技に出場するのかな？・・・4つのうち一つを自分で選びました。

どのように楽しめばいいのかな？・・・競技内容をよく読んで！

何色の旗に並ぶのかな？・・・学年もクラスもシャッフルしてあります。

必ず確認を！

運動会当日、メンバー表を忘れずお持ちください。そして競技・チームを確認してくださいね。



年長 あつまり うんどうかいに向けて…

夏休みがおわり、ひとまわり大きくなった年長さんと2学期の話をしました。2学期にやりたいことの中には「バザー」「運動会」「クリスマス」「キャロリング」など…一つずつ大切に子どもたちと過ごしていきたいです。

バザーの前には「どうしてバザーをするの?」と投げかけ、世界の貧困にも目をむける機会となりました。当日はかわいらしい店員さんをしてくれた子もあり、みんなの笑顔があふれるバザーとなりました。

☆今年の年長スペシャルは…「ソイヤ!」

「まつりだ!まつり!!」の掛け声が遊戯室で、園庭で、クラスで!いろいろな所から聞こえてきます。「ソイヤ!」は年長の子どもたちがキャンプファイヤーの時に楽しんだ曲であり、その後の遊びの時間にも楽しんでいました。幼稚園の最高学年として自信を持って、そして皆で一つのことに向かって取り組んでもらいたいという思いがあり、この「ソイヤ!」を選びました。

1学期に親しんでいたこともあり、振り付けはよく覚えていました。覚えているからこそ、しっかり腕を伸ばしたり、胸や声を張ったり「見てもらいたい」という思いを持って取り組んでいます。広い園庭をいっぱい使って、隊形移動にも挑戦しています。初めて並び順を伝えた日に、すぐ覚えてしまった子どもたち。スゴイ☆自分の前後のお友だちだけでなく違うグループのことまで覚えている子も!!

年長のあつまりだけでなく、朝の体操の時間に年中さんや年少さんの前で踊る機会がありました。観客がいることに少し緊張している子もいましたが、どの子も「笑顔」がすてきでした。何度も行なうなかでできる!やれる!という自信が出てきているようです。

運動会当日はいつもと違う雰囲気緊張してしまう子もいるかもしれませんが、何より楽しんできた姿を感じてもらえればいいな…と思っています。そして、子どもたちの笑顔に心からの拍手を送ってくださいね!



☆係り決め

年長児は運動会で様々な経験をします。その中で運動会のお手伝いとして、“係り”があります。先日あつまりで、「昨年の年長さんはみんなの為にどんなお手伝いをしていたか覚えている？」と聞くと、「メダル係り」「ゴールテープ係り」「アナウンス係り」とよく覚えていてくれて嬉しかったです。係りの内容をみんなで確認すると、しっかり理解できている年長さんでした。

係り決めでは、自分のやってみたい係りを希望し、人数的にも問題なく希望が通った子もいましたが、中には、大勢の子が希望していてどうしようかな、とよく考えた上で、同じぐらいやってみたい係りに移動した子もいました。しかし大勢の子が希望していてもやっぱりやりたいという子は、くじで決めました。残念ながら第一希望が通らなかった子もいましたが、最後に残った子もくじでなく希望した係りに決まりました。運動会当日は肩に係りの名前が書いてあるワッペンを付けて頑張りますので、労いの温かい拍手をお願いします！

どんな仕事をするのか係りの紹介をします。

- 『旗係り』 ••• 開会礼拝・体操時先頭に並び、退場後年中さんのかけっこで使用できるよう旗を移動させます。
- 『メダル係り』 ••• 年少さんのよーいどん(かけっこ)で、ごほうびとして、年長さんみんなで作ったメダルをかけてあげます。
- 『年少係り』 ••• 年少さんのよーいどん(かけっこ)で、年少さんが並べるようにお手伝いしたり、走った年少さんにギュッとハグしたり、年少さんのお世話をします。
- 『道具係り』 ••• 競技で使用する道具の準備や片付けなど力仕事をしてくれます。
- 『ゴールテープ係り』••• 年中さんのかけっこでゴールテープを担います。
- 『笛係り』 ••• 未就園児のかけっこで、スタートの笛を吹きます。
- 『ごほうび係り』 ••• 未就園児のかけっこで“頑張ったね”とごほうび(ノート)を渡します。
- 『アナウンス係り』 ••• 様々な競技をみんなが頑張れるように、メッセージを自分で考えアナウンスしてくれます。



③





☆メダル作り

年長さんには係りの他にも役割がもう一つ。それは「よーいドン」を走った年少さんへ贈るメダルを制作することです。いつも一緒に遊んでいる年少さんや、クラスの年少さんのことを考えながら作りました。メダルの裏には子どもたちが考えて書いたメッセージがあります。「自分だったら…」どんな言葉をもらったら嬉しいのか、相手の気持ちになって考え、文章にして、書く。思いを言葉にするのが苦手、字を書くのが苦手、そんな子も年少さんのことを思って取り組む姿に成長を感じました。

年少さん、どんなメダルになっているか楽しみにしててくださいね！

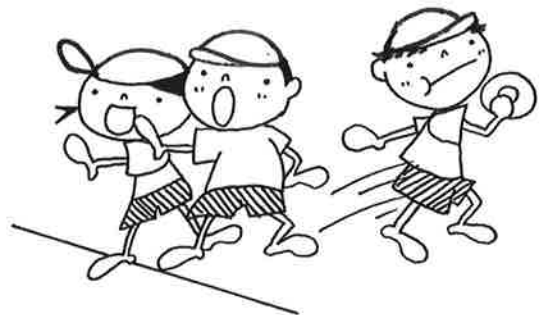


☆リレー

1学期から遊びの中で出ていた“リレー”。自由活動では、年長さんだけでなく年中さん、中には年少さんも参加しています。先日朝の体操後に、全クラス揃ってリレーをしました。バトンを渡す時に落としてしまったり、バトンをもらう場所が分からなくなったり、バトンを渡した後走り終わってホッとして、慌てて元の場所に戻ろうとして、走っている友達にぶつかってしまったりと、走り慣れていない姿がたくさん見られました。

その後、今まであまりリレーに参加しなかった子も、走る姿が多く見られるようになりました。手をしっかり振って走ると速くなることや、バトンを渡してくれる友達の名前を呼ぶとスムーズに受け渡しができることなど、たくさん走ることで様々なことを吸収し身体で覚えていく子ども達。

この幼稚園の特徴？！でもある、激しい急カーブのトラック。このトラックの周りをいかに無駄なく上手に走るかにかかっています。たくさん自由活動中に走って慣れる事が一番！勝った・負けただけでなく、走ることは楽しい！身体を動かすことは心地よい！ということを感じてもらえたらと思います。



Aki Akiko

年中スペシャル競技 みんなで決めよう！

♪赤勝て！白勝て！それ拍手！よかったいいぞ！いいぞ！それ拍手！

チャチャチャ チャチャチャ チャチャチャチャチャチャチャ オー！！♪



こんな歌を歌って気持ちも盛り上がり、玉入れを年中さんみんなで挑戦しました。今までやったことのある子もない子も楽しめるように、まずはみんなでルールを確認。「玉入れとは、赤チームと白チームに分かれて、玉を投げて・・・」と話しをしていると、子どもたちはどんどん集中してきました。

「持っていた玉を投げてしまったらどうすればいい？」

「またひろってどんどんなげる」

「投げても投げても入らないこともあるよね。どうする？」

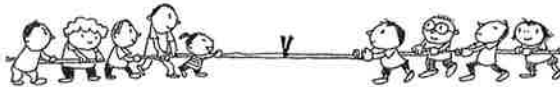
「でもさいごまであきらめないでなげる」



ひとつひとつの言葉を、具体的にイメージできるようになったんだなあと思った時間でした。また、自分の言葉で考えて受け答えをしていくそのやり取りに成長を感じました。

♪あーかー頑張れ！しーろー頑張れ！♪

こんな掛け声で、今度は綱引きにみんなで挑戦しました。綱引きはほとんどの子が初めて！やはりまずはルールを確認。集中して聞いていただけあって、どの子も見よう見まねで初めての綱引きに取り組むことができました。みんなで力を合わせて引っ張る、踏ん張る、応援する、そんな一体感を感じながら取り組めたことに、心の成長をととても感じた綱引きでした。



ふたつを経験したのち、運動会でどちらがやりたいか、多数決を取りました。自分で考えて決めるよう、目をつむって静かに二つのことを思い出し、静かに手を挙げてもらいました。そして・・・

今年はずなひきに決定！



赤・ひつじ・ぶどう・はと

白 ほし・ゆり・はと

それぞれのチームを二つに分けて行います。綱の持ち方もまだおぼつかなかったり、腰を落として踏ん張ることができず、かわいらしい姿もあります。待機している子どもたちが大口あけて応援するのも見どころです。おうちの方も一緒に応援してくださいね。

年中 かけっこ



今年はりオのオリンピックがあったことで、夏休み明けから、400メートルリレーやボルト選手の話をごども達がよくしていました。そんななかで行ったかけっこ、ごども達は必死に走り、転んでも、帽子が落ちてても、靴が脱げてても最後までしっかり走りました。

その後、年中あつまりの時間にごども達に「コースを走ってみてどうだった？」と聞いてみると「気持ちよかった」「年長みたいだった」「たくさん走れた」「ぶつかっちゃったけどね」などなど色々な感想を言ってくれました。否定的な言葉が出てきても、その後「でもね・・・」と続き最後まで頑張ったことを話してくれました。この時、ごども達が先を向いていることに少し感動を覚えました。そして私達から「走っているところを見てもらいたいね」と提案すると「それ、いいね～」と合わせたように返事が返ってきました。ごども達が「前よりも上手にたくさんの距離を走れるようになったよ」と自覚し、それを見てもらいたいと自信を持っているようです。

うんどうかい当日は、たくさんの人からの応援を受けて走ります。いつもと違う状況に緊張する子もいるでしょう。そうした姿も合わせて、去年より走る姿がさまになってきたごども達をご覧ください。

見所として→→→スタートの姿

よいい、ピッ！ この合図で走ります。このよういでごども達がスタートの準備をします。この時にどうしても手と足、同じほうが出てしまいます。これが見所① 可愛いんです♡

そして、走る直前にはスターターのほうをじっと見つめます。この時の眼差し、真剣です。これが見所② カッコいい!!

→→→走る姿

直線でもカーブでもしっかりと足をあげ、腕を振って走る姿。これが見所③ スキップのように走っていたごども達の姿が走る姿に変化してきました。

→→→ゴール後の姿

走り終えてからのなんとも言えない安堵した笑顔。これが最後の見所です。大きくなったなあと感慨深くなるはず。



年中 看板

うんどうかいでは、体を動かすこと以外にも挑戦して見るがあります。それは看板作りです。いつもと少し違う幼稚園の中でみんなの居る場所が分かるように、また応援する気持ちを看板にしようと作るようになりました。

一人、一文字ずつスタンプし、その文字を台紙に貼り、周りを切り紙で飾ります。スタンプ自体もダンボールで手作りします。また看板全体の構成もごども達がグループごとに考えていきます。運動会当日しか飾りませんので、お見逃しなく・・・

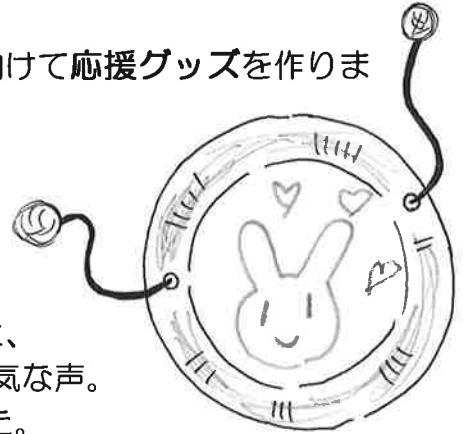
(まさえ)

わんしょうあつまり

秋になり、日々過ごしやすく、身体を動かしやすい時期になってきました。年少さんも、毎朝の体操やカー杯走ることを楽しんでいる姿が見られるようになりました。

そんな中、年少あつまりではうんどうかいに向けて応援グッズを作りました！

「これ、な～んだ？」と完成品の応援グッズを見せながらの保育者の問いに、「お皿！」と大きな声で返してくれた年少さん。「ただのお皿ではないんだよ」と振ってみせると、「音がする！」「おだんご、ついてる！！」と元気な声。応援グッズとして、**でんでん太鼓**を作りました。



丸めた紙にセロテープを貼ってのおだんご作りでは、粘土を使っておだんごを作ったことがある年少さんにとっては簡～単☆だったようで、「できた！」「見て見て！」と自信満々な顔が見られました。きれいな丸になるように、真剣な顔で紙を転がしている子も！

クラスでの敬老カード書きやバザーのポシェット作りと、これまで何度かサインペンを使う機会がありました。そのため、サインペンの使い方も大分マスターしてきた年少さん。サインペンのキャップを「お尻にくっつけるの～」と嬉しそうにペン尻に付ける姿もありました。丸い紙皿から丸いものを連想して、お顔だったり地球だったりを描く子も。思い思いに絵を描くことを楽しみました。



仕上げが済み、完成したでんでん太鼓を受け取った年少さんは、完成した嬉しさでにこにこ満面の笑みでした。早速振って鳴らしてみる姿もあり、うんどうかいの応援の準備は万端！ うんどうかい当日も、これを使っていっぱい応援しようね♡

(ゆか)

年少保育参加

年少さんの成長や園での姿を、おうちの方々にも見て頂こうと、年少あつまりに参加して頂く保育参加の、2回目が先週終わりました！

今回の保育参加は、体を思いっきり動かすことを楽しむことと、様々な体育器具の経験や、走る・跳ぶ・投げる等の基本動作を使ったうんどう遊び経験をねらいとしています。



すでに参加されたおうちの方はご存知の通り、体操したり思いっきり体を動かすことをとても楽しんでいる年少さん。中には、どうしてもいいか分からず固まってしまうたり、動き出せない子もいました。

出来ないことがダメではなく、今のありのままの姿を受け止め、どのように関わっていくか前向きに考えていくことが大切なのです。そのような子どもの姿を通し、3・4歳児の発達や園で生活している子どもの姿を知っていただけたらと思います。

おうちの方が来てくれて、一緒にあつまりの活動をするという、スペシャルな時間を喜び、とびきりの笑顔で「たのしかった！ありがとうございます！またね～」と言う年少さん。

その姿に「参加して良かった♪楽しかった！！」と思って頂けたのではないのでしょうか？

ありがとうございました！！



お時間作って頂きありがとうございます。

次参加予定の方、どうぞお楽しみに！よろしくお願いします。



チャチャラ

チャチャー

チャチャッチャチャララ～



(まお)